

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【公開番号】特開2019-170972(P2019-170972A)

【公開日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2019-041

【出願番号】特願2018-66268(P2018-66268)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月29日(2021.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、所定のメータ演出を実行可能であり、

前記メータ演出は、第1画像と第2画像とを有し、前記図柄表示手段による前記図柄の1回の変動表示に対応して前記第2画像が前記第1画像の第1位置から第2位置に移動することで、当該図柄の1回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記疑似連演出において、前記第2画像は、前記装飾図柄の変動表示の回数に応じて定量ずつ移動する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1]

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備えた遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、所定のメータ演出を実行可能であり、

前記メータ演出は、第1画像と第2画像とを有し、前記図柄表示手段による前記図柄の1回の変動表示に対応して前記第2画像が前記第1画像の第1位置から第2位置に移動することで、当該図柄の1回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記疑似連演出において、前記第2画像は、前記装飾図柄の変動表示の回数に応じて定量ずつ移動する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】